

提出日平成21年9月15日

## クルーズサマリー

### 1. 航海関連欄内容：

- (1) 航海番号・使用船舶：KY09-06・かいよう
- (2) 航海名称（実施要領書名）：平成21年度「日本海東縁ひずみ集中帯における地震探査調査研究」
- (3) 首席研究者・所属機関：高橋成実・海洋研究開発機構
- (4) 課題代表研究者・所属機関：  
金田義行・海洋研究開発機構
- (5) 課題受付番号・研究課題名：
  
- (6) 航海期間・出港地～帰港地：  
平成21年8月6日～8月19日・直江津港～海洋研究開発機構岸壁
- (7) 調査海域：日本海東縁海域・北西太平洋海域
- (8) 船舶の航跡図：

### 2. 本文：

#### (1) 目的：

本調査は、科学技術振興調整費「ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究」において、その代表機関である独立行政法人防災科学技術研究所からの受託研究として実施する平成21年度所内研究課題「ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究」の一環として、佐渡周辺海域で海洋調査船「かいよう」による30台の海底地震計(OBS)を用いた屈折法探査を行った。また、この調査終了後、北西太平洋海域におけるOBS30台の回収を実施した。

#### (2) 実施項目：

##### 1) 海底地震計(OBS)を用いた屈折法探査

総容量12,000立方インチのエアガンアレイを震源部とし、海底地震計計30台を佐渡北西沖と佐渡海峡に設置し、屈折法探査を実施した。この後、北西太平洋海域のOBS30台を回収した。

##### 2) マルチチャンネル反射法探査(MCS)

12チャンネルのハイドロフォンストリーマーケーブルを曳航し、上記の屈折法探査中の浅部構造からの反射波をストリーマーケーブルで受信した。

##### 3) 海底地形

航海中はSEABEAM2100によって、海底地形を観測した。

##### 4) XBT

海底地形調査の音速補正用にXBTを2箇所を実施した。